３．第２四半期の連結経営成績、連結財務諸表等

【損益の状況】

	2007 年度 第２四半期	前年同期比増減率
売　上　高	13,463 億円	6.9 %
国　内	8,426	3.5
海　外	5,036	13.2

	2007 年度 第２四半期	前年同期比
営　業　利　益	409 億円	49 億円

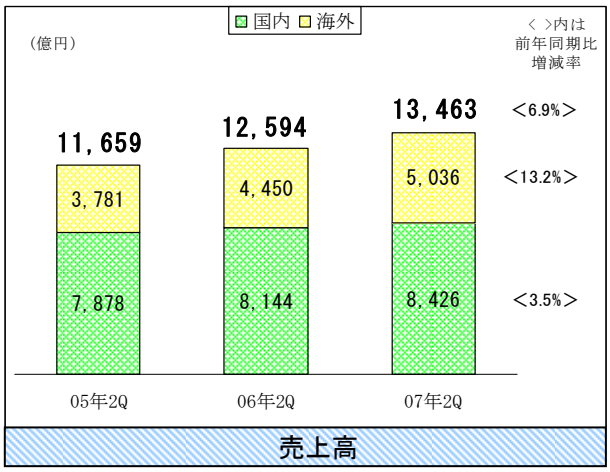
第２四半期の売上高は１兆３，４６３億円と、前年同期比６．９％の増収になりました。国内は前年同期比３．５％の増収です。携帯電話基地局や所要の回復が遅れた基盤ロジック製品は伸び悩みましたが、サービス事業や携帯電話、９０ｎｍテクノロジーの先端ロジック製品などが増収となりました。海外は前年同期比１３．２％の増収です。為替の影響やサービス事業での買収影響があったほか、アウトソーシングサービス、光伝送システム、ＵＮＩＸサーバ、ＨＤＤなどが増収となりました。

営業利益は４０９億円と、前年同期比４９億円の増益になりました。携帯電話基地局の減収やＨＤＤの価格下落継続などの影響はありましたが、増収効果やサーバ関連を中心としたコストダウン推進のほか、先端ロジック製品の売上伸長などによるＬＳＩの損益改善が寄与し増益となりました。

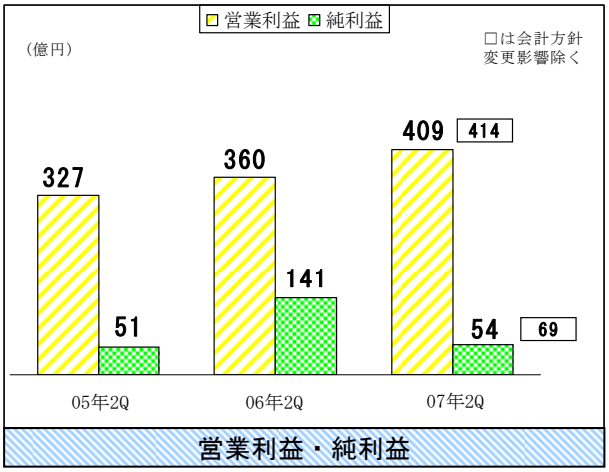
経常利益は２６４億円と、前年同期比４８億円の減益になりました。営業外損益が、為替差損の発生などにより悪化したことによるものです。

中国の関連会社（南通富士通）の上場、増資に伴う持分変動利益２０億円、及びインドの関連会社株式の売却益１７億円を特別利益に計上したほか、電子部品事業に係る固定資産の減損損失など３億円を特別損失に計上しました。

当期純利益は５４億円と、前年同期比８７億円の減益になりました。海外子会社からの配当増加や英国での税率変更による税金負担の増加影響によるものです。



売上高



営業利益・純利益